

問	当事者	ア 内面 (当事者の気持ち, 考え)	イ コンセプト (解決策の基礎となるもの)	ウ 効果 (解決によりどのようなになるか)
<p>問1 委員推薦を依頼した団体から、女性の推薦を得るには、どうすればよいだろうか。</p>	①団体	<ul style="list-style-type: none"> ○女性を推薦できない ・団体に女性が少ない ・私生活面への配慮が生じ、女性の選定が面倒 ・女性に頼みにくい ○これまで通りの人選の方が楽 ○女性を推薦しなければならない理由が分からない 	<ul style="list-style-type: none"> ○女性推薦に対する理解促進 ・女性委員の必要性について理解促進 ・推薦して欲しい人物像の明確化 ・依頼団体と顔の見える関係の構築 ○会議の性質に応じた適任者の選出 ○女性の推薦を得られやすい団体のリサーチ ○女性推薦に協力を得られる団体の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ○団体の理解, 協力により, 円滑な女性推薦が実現 ○団体推薦の女性が増加。 ○女性委員の割合の向上
	②推薦者	<ul style="list-style-type: none"> ○会議に参加することが恥ずかしい ○知らない人が参加する会議の参加が不安 ○会議で発言することが苦手 ○会議は休めないというプレッシャー ○なぜ有識者ではなく、私が参加しなければいけないの ○単に女性だから依頼されるのはありがた迷惑 ○今まで会議に参加しなくて済んだのに ○急に依頼されても困る ○生活に身近な事項がテーマであれば参加しやすいが、それ以外は参加しづらい ○委員の役割が分からない ○会議の議論の趣旨やテーマが理解しづらく、要求されることが高度 ○団体からのサポートが欲しい ・団体を代表として会議に参加することが重荷 ・委員就任が持ち回りだと心構えができる 	<ul style="list-style-type: none"> ○参加してラッキーと思われる会議環境の整備 ○会議情報の充実 ・年間開催日時の事前決定 ・会議開催前のガイダンス ・分かりやすい会議内容 ・会議風景の発信 ○団体内でのサポート体制づくり ・前任者から次期参加者へ引継ぎ ○男女共同参画の意識醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ○会議の楽しさに触れ, 参加してよかったと意識が変わる ○会議に参加するハードルが下がる ○会議に対する先入観が解消 ○ありがた迷惑だと感じていた参加者が進んで会議に参加 ○会議に参加する意義が浸透し, 家族の協力が広がり, 偏った役割分担意識が解消

問	当事者	ア 内面 (当事者の気持ち, 考え)	イ コンセプト (解決策の基礎となるもの)	ウ 効果 (解決によりどのようなになるか)
<p>問2 子育て世帯が会議に参加してもらうには、どうすればよいだろうか。</p>	<p>③子育て世帯</p>	<p>○家庭を優先しなければならず、会議参加をあきらめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家事を周囲に頼めない ・時間的め精神的にゆとりがない ・子育ては女性が担わなければならない <p>○会議参加が不安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人で参加しづらいけど、友達同士なら参加できる ・地域のPTAなどの会議は夕方でも参加するが、市が主催する会議は仰々しく参加しづらい 	<ul style="list-style-type: none"> ○参加しやすい会議環境の整備 ・宿題形式で事前に課題を課す ・会議の雰囲気や情報の発信 ・子どもを会議に連れてくることできる ・開催時間の調整や会議時間をコンパクトに ・参加できなくても大丈夫という安心感 ○友達同士で参加しやすい仕組みづくり ○家事、育児の家族の協力体制づくり ○社会から子育て世帯の参加が求められていることを実感させ、やる気を引き出させる 	<ul style="list-style-type: none"> ○会議に参加しやすくなる ○会議の役割について理解が深まる ○子育て世帯の会議参加 ○子育て世帯の参加の輪が広がる ○多様な意見が集まる ○子育てや家事は家族で担うものという理解が広がり、女性の活躍の場が広がる ○子育て世帯が会議参加を求められていることが伝わり、「私たちもさんかした方がいいな」と主体的に参加
<p>問3 附属機関等の事務局職員が女性登用の意識を高めるには、どうすればよいだろうか。</p>	<p>④事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○そもそも会議は男性が多数を占めているもの ○なぜ男女比のバランスをとらなければならないのか ○男女共同参画が分からない ○多様な視点からの意見の必要性が理解できない ○女性割合が低いことも知らない 	<ul style="list-style-type: none"> ○女性登用と男女共同参画の理解醸成 ○多様な視点からの意見の必要性について理解醸成 ○女性割合の目標意識を共有する 	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な視点からの意見の必要性について理解が深まる ○女性登用の意識が浸透し、女性登用が進む ○女性が参加しやすい会議環境の配慮が生まれる